

＝ 畜舎・飼料タンク施工例 ＝



Line up



省エネ遮熱塗料
ファームバリア
(16kg)セット A液 14kg
B液 2kg



省エネ遮熱塗料
ファームバリア Tio
(16kg)セット A液 14kg
B液 2kg



水性遮熱塗料
ファームバリア ECO
(16kg)



**ファームバリア
マイティプライマー遮熱**
(16kg)セット A液 14kg
B液 2kg



地域未来牽引企業
宮崎県成長期待企業
株式会社 **宮防**

URL <http://miyabo.co.jp>
Email miyazaki@miyabo.co.jp

お問合せ先 フリーダイヤル ☎ **0120-077-876**

本社：宮崎市大字田吉 1886 番地 電話 0985-53-1008 FAX 0985-53-1044
都城営業所：都城市郡元 1 丁目 3 番地 1 電話 0986-25-3590 FAX 0986-25-3581

ファームバリア

F A R M B A R R I E R

省エネ遮熱塗料

畜舎・飼料タンク用暑熱対策塗料

ファームバリア

ファームバリア Tio

ファームバリア ECO

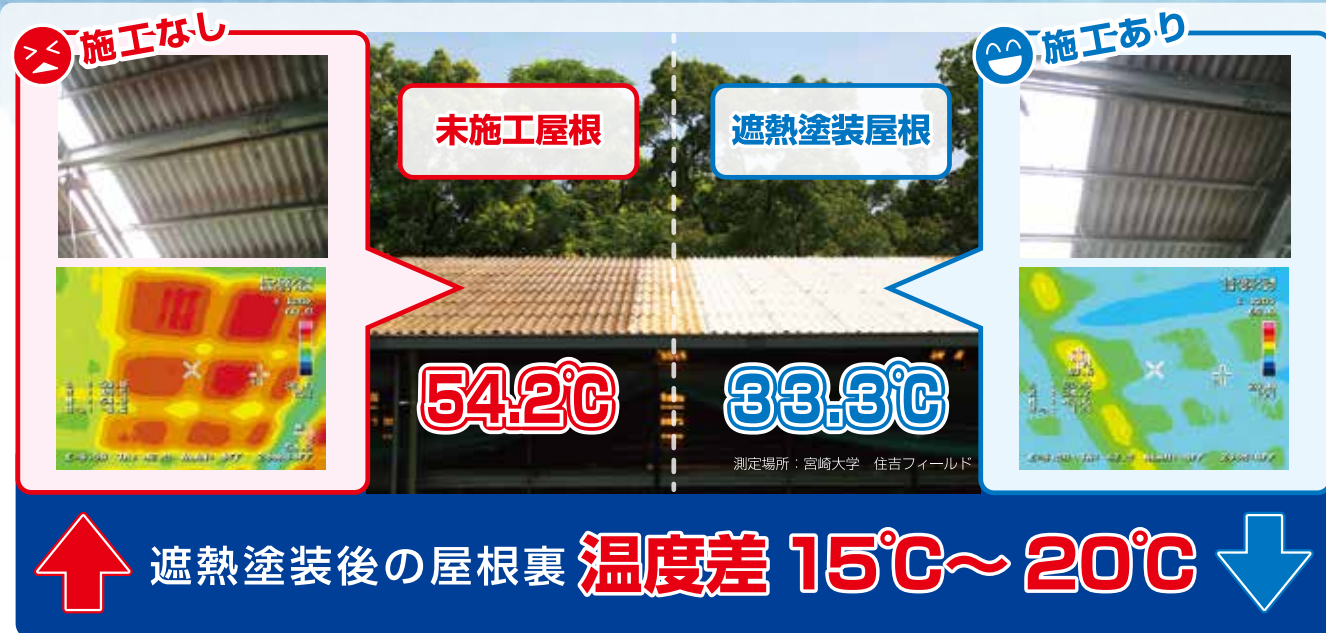


地域未来牽引企業
宮崎県成長期待企業
株式会社 **宮防**

畜産業の暑熱対策に大きな効果

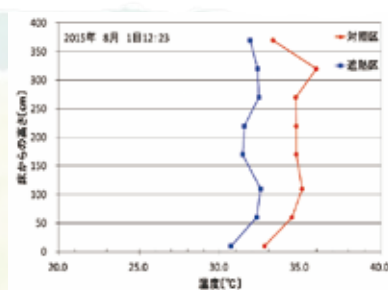
畜舎内温度を $3.5^{\circ}\text{C}\sim 4^{\circ}\text{C}$ 抑制

畜舎の暑熱対策



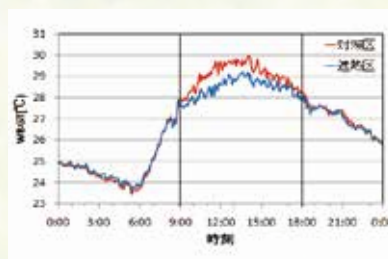
空気温度の高さ方向の変化

遮熱区と対照区の床上からの高さ（10cm、60cm、110cm、170cm、220cm、270cm、320cm、370cm）の各8地点に熱流口ガーを設置し温度を測定。家畜の生息空間 $3.5^{\circ}\text{C}\sim 4^{\circ}\text{C}$ の温度抑制効果がみられた。



熱中症対策

熱中症リスクを表す指標(WBGT 値)を測定し、日中に遮熱区のWBGT 値が低くなることから、熱中症リスクの軽減できる結果が確認された。



宮崎県の経営革新計画承認を受け、遮熱塗料「ファームバリア」を活用した、農畜産業の暑熱対策改善を実施しています。畜舎内温度の上昇を抑制することが、生産性・品質の向上に結び付いています。地球温暖化が進む中、畜舎および飼料タンクの遮熱塗装は非常に重要な暑熱対策となっています。

飼料タンク内の温度対策

飼料タンクの遮熱処理

宮崎大学農学部との共同研究にて、データ分析を行っています。

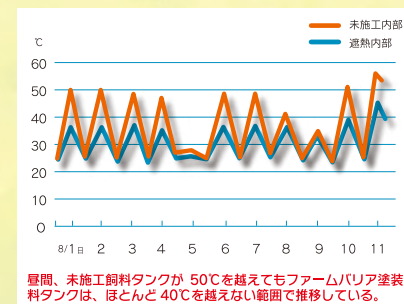
飼料タンクを遮熱処理することで、特殊セラミック、熱反射顔料が熱作用の高い近赤外線を効率よく反射・散乱し、太陽熱の吸収を防ぎ、タンク内の温度を $15\sim 18^{\circ}\text{C}$ 抑えることが出来ます。飼料タンクの温湿度変化により発生する結露やこびりつきなどは、ビタミン・ミネラルの劣化、脂肪の酸化等にも影響します。飼料の安全面を管理するという事でも是非ご検討されてはいかがでしょうか？



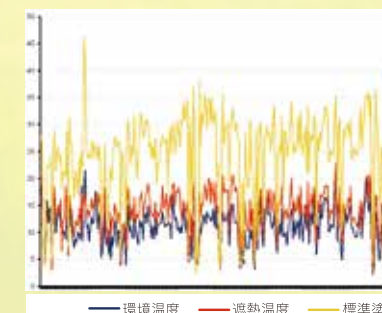
サーモグラフィによる温度試験



宮崎大学農学部飼料タンク内部温度データ



日格差の温度推移



今まで、様々な角度から畜舎や飼料タンクの温度変化を研究してまいりました。この膨大なデータが、今後の畜産業発展のお手伝いになればと思っています。